



# 「地域共生社会をめざして 農福連携」でまちの居場所づくり

ちいき きょうせいしゃかい

大谷大学  
社会学部  
大原ゼミ

3 すべての人に  
健康と福祉を



実はこんな問題が...

## 障害者の「はたらく」の現状って？

**障害者の雇用率**は年々上がっているものの、まだまだ低い水準にあります。特に、重度の障害がある人や、精神障害がある人の雇用は難しく、賃金にも差があり、場合によっては月に約17,000円ほどの工賃しかもらえないことも…。このように、障害者の「**経済的な自立**」は、障害者福祉の大きな問題のひとつといえます。



## 解決に向けての取り組み



のうふくれんけい

## 「農福連携」で生まれたまちの居場所

さんきゅーどーなつ / さんきゅーないと  
『39 DONUTS』 / 『三休NIGHT』

農業界では、高齢化による人手不足が深刻化。その解決策として注目の「**農福連携**」を通して、障害者の社会参加・しごとづくりに関わりながら、まちの居場所としての『39 donuts』『三休Night』を開催。

|   |                                                  |
|---|--------------------------------------------------|
| 例 | 畑で採れた野菜を使った料理をふるまいながら<br>「農福連携」について説明            |
|   | 参加者みんなでカフェの看板づくりを企画<br>思い思いの色の和紙や折り紙を使い、ちぎり絵で色付け |

この取組により、障害者の就労や生きがいがづくりの場が生まれるだけでなく、障害の有無や年齢、性別といった属性に関わらないつながりのあり方を検討し、共に生きる社会の実現に向けた課題解決を目指します。

## こんな未来を目指します！

ちいき きょうせいしゃかい

## 「地域共生社会」をめざして 誰も取り残さない居場所づくり

農福連携とは、「食」を生み出す「農」と「人」、そして「福祉」が一体となることです。農業をきっかけに地域との結びつきが生まれ、誰もが参加できる「**まちの居場所づくり**」を。地域の事業者と協力しながら増やしていくことで、農福連携による、「**地域共生社会**」の実現を目指します。



## 投資先からのメッセージ

ふくし

## 「福祉」って誰のためのもの？

「福祉」と聞くと、どこか困った人のためにあると感じるかもしれません。しかし本来は、障害者や高齢者、子どもなど、特にケアを必要とする人々はもちろん、すべての人々が安心して幸せに暮らせる社会を目指すものです。例えば「子育て支援」「医療保険」

「年金制度」なども、私たち全員が利用する可能性のある福祉の仕組みです。誰もが困難な状況に陥る可能性があり、その時に社会全体で支え合うことが、「**地域共生社会**」につながると考えます。

# 知っておきたいキーワード



#障がい者の雇用率

#経済的な自立

#農福連携

#地域共生社会